

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 No.27 通算 91

2016. 6. 9 (木) 発行

教育実習生の皆には大変お世話になりました。結びに「贈る言葉」を頂きました。明日からは大学へ戻られることと思いますが、2年生徒+2学年団全員=210名は君達のことを忘れません。いつでも遊びに来て下さい。また、教員となり、この母校に戻って来てくれる日を心待ちにしています。素敵な2週間でした。ありがとう！

古巣からの再出発 ～半端者から送る後輩たちへの言葉～

化学 & 2年3組 HR 担当 齋藤 翼

5月25日。私は再び、この古巣に戻ってきた。「生徒」ではなく「教師」として…驚いたことに、見えてくるもの全ての景色が変わって見えた。どこか懐かしく感じつつも…今の興譲館は、あいさつをしっかりと、明るいと感じました。(自分は、ちゃんとした人間ではなかったの…汗) 生徒と教師の立場がどちらも理解できるある意味、中途半端な者である私にとっては、毎日毎日が新鮮であり、一生忘れることのない2週間になったと確信しています。

さて、この場をお借りして、皆さんに伝えたいこと何か…じっくり考えたとき次のようなことが浮かんだので皆さんにお伝えしたいと思います。

私は、人生は船旅に似ていると思っています。感情を天候に置き換えれば、晴れ(うれしい etc.)の時もあれば嵐(苦しい etc.)の時もあります。ある目的地(目標)を目指して、目標を達成して、次の旅に出る…そういう意味でも、高校生活という名の『旅』は始まっています。その旅の中で、出逢えたかけがえのない仲間と友情を育み、時には助け合い、時には対立し、お互いに切磋琢磨しながら、果て無き目的地へと進んでいることでしょう。しかし、ここでも強調しておかなくてはいけないことは2つ!1つは興譲館生の目的地が大学進学であるということ。もう1つは、旅をしていく時間は君たちが思っている以上に短いということ。

この2つのことから見出せる1つの結論は、

『日頃の舵取り次第で目的地へ到達できるか決まってくるということ』

この言葉を私なりに言い換えるのであれば、

『常に“未来(将来)”を意識して、全力で“今”にぶつかっていけ!』

ということですが。宿題1つにしてもそうです。期限内に何も考えずただ終わらせた行為と、自分なりに課題に取り組む目的を意味付けし取り組んだのでは、進んだ進度も、後に感じる達

成感も何もかもが変わってきます。

人生という旅をする旅人である“今の”自分も、また興譲館生だった“過去”の自分も、もちろん「半端者」です…そんな半端者が言える確かなことは、

『“ごまかした分”は“ごまかした日数の累乗倍”で自分に必ず帰ってきます』

興譲館で、学習、部活、全てにおいてやり切れていなかった私が君たちに残せる言葉かなと思います。ぜひ、目的持って高校生活を謳歌して下さい。

2年3組の皆さんへ。2週間あっという間でした(よね?)。君たちとの交流の時間を大切に、密度の濃いものにしようと奮闘しましたが、そう上手くはいかなかったのかも…ですね(涙)伝えたいこといっぱいありましたが、大切なことは、伝えてきたつもりです。この後の時間を有意義なものにするために、個々が全力で頑張ってください。皆さんの今後の気がなるところですが…大丈夫です!2年3組には、“若くて綺麗な”芳賀先生がいらっしゃいます!何かあったら迷わず芳賀先生へ!皆さんの未来が、輝く未来に包まれていることを信じて…ありがとうございました!

最後に、教育実習において、ご指導して頂いた先生方、そして、拙い授業、指導ながらも、自分についてきてくれた全興譲館生に感謝申し上げます。

さあ、船出の時です!これから始まる新たな旅と、君たちの目的地への到着を祈って…さて、次はどんな冒険が待っているのやら…

送別の言葉

2年2組担当 鈴木皓哉

2年生の皆さん2年2組の皆さん、2週間本当にお世話になりました。2週間は光の速さで過ぎて行きあっという間に終わってしまった気がします、振り返ってみるとたくさんの方が、とても密度が高い期間でした。初日の朝、特にHRでの挨拶で視線が一気に集まった時にはとても緊張しました。昼休み、放課後、様々な時間に話しかける私の相手をしてくれてとても嬉しかったです。廊下での挨拶、とても爽やかに元気をもらいました。なにげない時間のなにげない会話が楽しみで、毎日興譲館に来るのが喜びでした。そして何より、今の興譲館生の皆さんと出会うことができたのが私にとって大きな財産になりました。皆さんは将来、多くの人々と出会うと思います。その出会いこそが成長、自分の可能性を広げるチャンスです。出会いから学んだことを心に留め、出会いから多くの刺激をもらい、そして再び出会う機会があったら感謝の気持ちや現状を伝える。そのような姿勢こそが出会いを大切にすることだと私は思います。教育実習2週間では多くのことを学ばせていただき、自分の中でいろいろな発見ができました。また会う機会があったら、私の成長した姿見て、伝えさせてください。そして皆さんの現状、成長した様子も教えてください。

最後に、この世界のどこにいても皆さんのことを全力で応援しています。どこかで、私を見かけたときは声をかけてください。私も見かけたら声をかけます。本当にありがとうございました。



私の旅立ちに添えて

二年五組担当

島貫 光

二年生の皆さん、そして二年五組の皆さん、卒業おめでとうの二週間、本当にお世話になりました。

皆さんとの出会いは、たぶん、ゴールデンウィーク中の理数科での授業でした。あの時は、横山先生からふチャおびされたんだわけね瞬間的な判断力を鍛えていただきました。

正直、もう、お別れなのかと思うと寂しいです。もっと、みなさんと授業をしたかったなと思っています。というか、皆さんよりも、早くこの腰の痛みとお別れしたい。立つても痛い、座っても痛い、もはや生きてるだけで痛い辛い嫌だ。もう腰なんてなくなればいいのに。でも、ドキム本島貫は常にこう思うのです。「痛みをかかじるのは、生きている証拠」なのだ。

痛みを知っている人は、それだけ人にやさしくできますし、それは「弱さ」ではありません。ぜひみなさんには、人の痛みを感じられる人になってほしいと願っています。(ついでに私の腰の痛みもわかってほしい...)

最後に、五組の皆さん(あと、ふなちよろー)、楽しい時間をありがとう。毎朝のSHRも、掃除の時間も、一緒にバレーの練習をしたことも、くだらないタジャレで教室を沸かせたことも、みんなにラブレターを書いたことも、ポテトサラダがおいしかったことも、手も足も出ないクイズを出されたことも、すべて大切な思い出です。ということ、一見おとなしうに見えるけど実は元気がよくて、女子はアニメ好きが多く、男子は個性豊かな五組のメンバーは、本当にシマヌキが大好きです。またどこかで会いましょう。ごきげんよう。

最後の最後に、理数科の皆さんにもたくさんお世話してきましたねになりました。文系の攻略法や、シマヌキの暴露話ができただのも楽しかった。理数科よ、私のような頭脳明晰・容姿端麗・スポンジみたいな柔らかい人間になれるよう頑張ってください。はははっ。

山形大学 蜂屋 里実

2週間という短い間でしたが、授業や部活動の場面でお世話になりました。担当学年は異なりましたが、質問に来てくれる方もいて、非常に嬉しかったです。興譲館の先生方を信じて学んでいけば将来の選択肢は増え、夢に近づけると思います。学ぶとは勉強のことだけでなく部活動や学級活動も然りです。今しかできない、興譲館でしかできないことを全力で頑張ってください。また会う日まで。

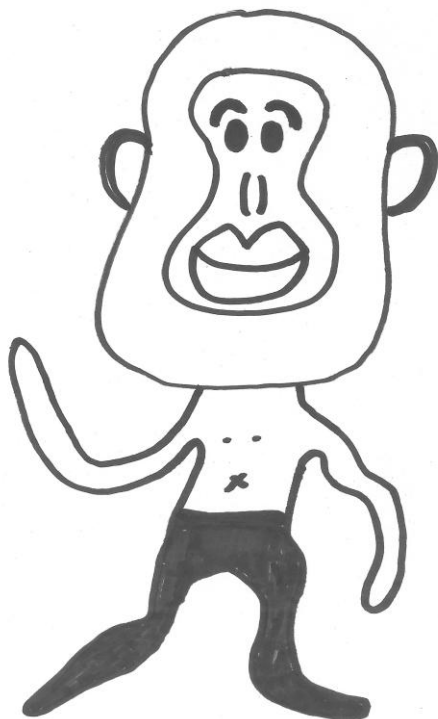
(体育祭2日目6月10日にお会いしましょう)

名前 渡邊 志保

担当教科 / 学級 理科(生物) / 2-1

忘れずに

虫屋 心



立いちやいや